

ARIBの動き

第125回業務委員会が開催される

第125回業務委員会が開催されましたので、その概要をお知らせします。

1 日時 平成19年1月17日(水) 午後2時から4時まで

2 場所 当会第2会議室

3 議事概要

次の事項について事務局から説明がありました。

- (1) アルゼンチンにおける地上デジタル放送のデモ等の実施について
- (2) 日本知的財産仲裁センターとの協力について
- (3) 平成19年度税制改正要望の結果について
- (4) アナログ周波数変更対策業務について
- (5) 当会の活動状況について

ARIBから のお知らせ

第57回電波利用懇話会のご案内 無線LANの最近の動向について

近年、無線LANは、これまでの家庭内・オフィス内での構内LANとしての利用形態に加え、駅やホテル等における公衆無線LANスポットとしての利用、地域におけるデジタル・ディバイド対策のための各家庭への加入者回線（ラストワンマイル）としての利用等、新たな利用形態が拡大しつつあります。

このように様々な場面で普及が進む無線LANについては、ADSLの高速化やFTTHの進展や有線系システムのブロードバンド化を背景に、光ファイバー等の有線系ブロードバンドに遜色のない、100Mbps以上の伝送速度を実現する高速な無線LANの早期実現が求められているところです。

今後、高速無線LANの実用化により、ワイヤレスインダストリー等ICT関連産業の振興や全国各地における早期のブロードバンド整備、デジタル・ディバイド対策の促進等が期待されます。

当会では、今後の電波利用の発展に大きく係わる本件について、総務省から講

師をお招きして説明していただくこととし、下記により第57回電波利用懇話会を開催することといたしました。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 : 平成19年2月5日(月) 午後2時から4時まで
- 2 場所 : 東海大学校友会館 望星の間 (霞が関ビル33階)
東京都千代田区霞が関3-2-5 TEL:03-3581-0121
- 3 題名 : 無線LANの最近の動向について
- 4 講師 : 総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹通信課
課長補佐 今井 清春 様
- 5 対象 : ARIB正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 120名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます)
- 7 申込先 : 当会ホームページのセミナー講演会等の申込受付まで
(<https://www.arib.or.jp/cgi-bin/semi/usr/general.cgi>)
- 8 参加費 : 無料
- 9 会場案内



霞が関ビル33階 東海大学校友会館 望星の間

問合せ先
企画国際部 小南
TEL:03-5510-8592
FAX:03-3592-1103

電気通信・放送 行政の動き

電気通信事業分野の競争状況に関する四半期データの公表 (2006年度第2四半期(9月末)) (平成18年12月28日総務省公表)

総務省は、2003年度から電気通信事業分野の競争評価を実施しており、その一環として事業者からの情報収集に基づき競争状況に関する四半期データを公表することとしています。この度、最新のデータとして2006年度第2四半期(9月末)のシェアデータ等を取りまとめましたので、その概要を公表します。今回調査結果の主なポイントは次のとおりです。

詳細については、<http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/061228_5.html>を参照してください。

1 固定通信

(1) 加入電話

- 加入電話（NTT加入電話、直収電話、0ABJ-IP電話、CATV 電話の合計）の契約数は、06年9月末で5,949万となった。NTT加入電話が大きく減少する一方、直収電話は359万（前期比8.8%増）、0ABJ-IP電話は270万（前期比32.4%増）で、直収電話及び0ABJ-IP電話の急増が続いている。
- 加入電話契約数全体に占めるNTT東西のシェアは、06年9月末で90.9%（NTT東日本45.2%、NTT西日本45.7%、前期比0.7%減）を占めている。

(2) IP電話

- IP電話の利用番号数は、06年9月末で1300万（前期比7.5%増）。0AB～J番号の利用数は270万（前期比32.4%増）となり、拡大傾向が続いている。
- IP電話全体のシェアでは06年9月末でソフトバンクBBが37.2%（前期比2.6%減）、NTTコミュニケーションズが24.8%（前期比0.1%減）、NTT東西が15.2%（前期比3.6%増）となっている。
- 0AB～J番号におけるNTT東西のシェアは、06年9月末で73.2%（NTT東日本38.8%、NTT西日本34.4%、前期比4.2%増）となっている。

2 移動体通信

- 携帯電話・PHSの合計の契約数は9,869万（前期比1.1%増）で増加幅は引き続き低下している。PHSは11万増の488万（前期比2.3%増）となり、横ばいで推移している。
- NTTドコモグループのシェアは53.4%（前期比0.2%減）、auグループのシェアは26.8%（前期比0.2%増）、ソフトバンクモバイルのシェアは15.5%（前期比0.1%減）と、上位3社中auグループのみが引き続き増加している。

3 インターネット接続

(1) DSL

- DSLの契約数は06年9月末で1,439万（前期比0.7%減）で、前期に引き続き減少。
- 全国で見ると、NTT東西のシェアは38.8%（NTT東日本20.4%、NTT西日本18.4%、前期比0.4%減）となり、減少に転じた。一方、BBテクノロジーのシェアは35.7%（前期比0.6%増）、イー・アクセスのシェアは13.4%（前期比0.1%増）となっている。

(2) FTTH (光ファイバ)

- FTTHの契約数は06年9月末で715.5万 (前期比13.5%増) となった。
- 全体ではNTT東西のシェアが66.0% (NTT東日本36.4%、NTT西日本29.6%、前期比1.4%増) となった一方、電力系事業者は15.0% (前期比0.6%減)、USENは7.3%(前期比0.7%減)と低下している。
- 戸建て+ビジネス向けでは、NTT東西は76.0% (NTT東日本38.4%、NTT西日本37.6%、前期比1.0%増) となり、集合住宅向けでは、NTT東西が52.6% (NTT東日本33.8%、NTT西日本18.8%、前期比2.0%増) となっている。いずれもNTT東西のシェアが上昇し、特に集合住宅向けでその傾向が顕著である。

4 法人向けネットワーク

- 新型WANサービスの契約数の合計は06年9月末で64.1万回線 (前半期比6.8%増) となり、広域イーサネットは1.7万増 (前半期比10.4%増)、 「メガデータネッツ」等が1.3万増 (前半期比7.6%増) となった一方、IP-VPNは1.1万増 (前半期比4.2%増) となっている。
- NTT東西のシェアは36.3% (前半期比0.6%増)、NTTコミュニケーションズは23.4% (前半期比0.6%減) で、NTTグループ全体のシェアは69.1% (前半期比0.4%増) と増加傾向が続いている。

			2004年度末		2005年度末		2006年度					
			前年度比 (%)		前年度比 (%)		第1四半期(4~6月)		第2四半期(7~9月)			
							前四半期比 (%)		前四半期比 (%)			
固定電話	加入電話	契約数(万件)	5980	▲0.7	5948	▲0.5	5949	0.0	5949	0.0		
		シェア(%)	48.6	▲0.7	46.0	▲2.6	45.5	▲0.5	45.2	▲0.3		
		NTT東日本	48.9	▲0.7	46.7	▲2.2	46.1	▲0.6	45.7	▲0.4		
	IP電話	利用番号数(万番号)	050番号	811.8	—	1003.3	23.6	1005.4	0.2	1030.1	2.5	
			OAB~J番号	18.7	—	142.4	661.5	204.3	43.5	269.9	32.1	
			シェア(%)	54.4	—	42.0	▲12.4	39.8	▲2.2	37.2	▲2.6	
		移動体通信	携帯・PHS	契約数(万件)	9147	5.1	9648	5.5	9764	1.2	9869	1.1
				シェア(%)	54.8	▲0.2	53.8	▲1.0	53.6	▲0.2	53.4	▲0.2
				auグループ(ツーカーを含む)	25.3	1.6	26.4	1.1	26.6	0.2	26.8	0.2
			インターネット	DSL	契約数(万契約)	1363	22.1	1452	6.1	1449	▲0.2	1439
シェア(%)					20.7	0.3	20.7	0.0	20.7	0.0	20.4	▲0.3
NTT東					17.4	1.3	18.5	1.1	18.5	0.0	18.4	▲0.1
ネット				FTTH	契約数(千契約)	2824.9	99.5	5457.7	85.4	6305.6	15.5	7154.6
	シェア(%)				30.6	1.2	34.6	4.0	35.6	1.0	36.4	0.8
	NTT東				26.9	▲1.6	28.0	1.1	29.0	1.0	29.6	0.6

※一の部分については、該当するデータの集計を行っていない。
※IP電話については、固定番号数から利用番号数に繰越を変更している。

			2004年度末		2005年度末		2006年度	
			前年度比 (%)		前年度比 (%)		上半期(4月~9月)	
							前期比 (%)	
ネット	新型WAN	契約数(千回線)	491.7	27.6	599.9	22.0	640.7	6.8
		シェア(%)	19.6	2.7	21.1	1.5	21.4	0.3
		NTT東日本	13.5	3.0	14.6	1.1	14.9	0.3
		NTT西日本	23.9	▲3.0	24.0	0.1	23.4	▲0.6
		NTTコミュニケーションズ	13.9	▲3.6	15.7	1.8	15.5	▲0.2
		KDDI	8.5	1.9	5.2	▲3.3	5.3	0.1
		電力系事業者	8.8	3.3	9.0	0.2	9.4	0.4
		その他NTTグループ	11.7	▲4.5	10.4	▲1.3	10.1	▲0.3

編集後記

昨年12月25日気象庁発表の3ヶ月予報によると、この冬はどうも全国的に暖冬らしい。寒いより暖かい方が過ごし易いため暖冬は歓迎ですが、地球温暖化による影響であれば御免こうむりたいですね。長期予報は、気温について「低い」、「平年並」、「高い」確率をそれぞれ発表しています。1月~3月の関東甲信越を例にとれば、この値はそれぞれ20%、30%、50%であり、ベース値(30%、40%、30%)より高い方に大きくずれているため、暖冬ということらしい。長期予報については、まだこの程度の大雑把な予測しか出せないというのが実情のようで、発表値に地球温暖化の影響がどの程度加味されているか判りませんが、何となく温暖化の影響かと思うのは考え過ぎでしょうか？

(N.K.)